



環境報告書 2011

天野エンザイム株式会社

2011.10 発行

本報告書はリサイクル PPC 用紙を使用しています。

I. 環境方針

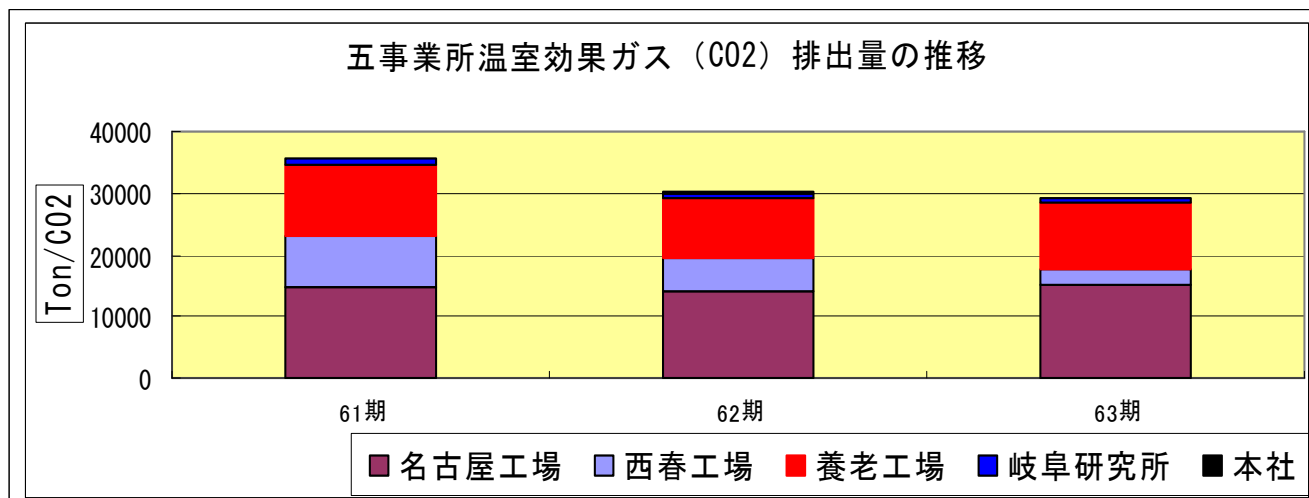
1. 私たちは、地球環境を守るため環境に関する法規制及び地域との取り決めを順守します。
2. 私たちは、酵素の開発から製造、販売活動において業務の効率化を図り、省エネルギー、廃棄物の削減及び再資源化と排水水質の改善に努めます。
3. 私たちは、環境方針を達成するために目的・目標を設定し、環境保全活動を計画的に推進し定期的にレビューし、システムの継続的な改善に努めます。
4. 全従業員と関係する人々に環境方針を周知すると共に、従業員のすべてが地球環境の大切さを自覚し、環境保全に努めます。
5. 私たちは、地域社会との協調、融和に努めコミュニケーションを大切にし、この環境方針を情報公開します。

2011年4月1日

天野エンザイム株式会社 天野 源之

Ⅲ. 2010 年度 事業所内外の活動について

2010 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 第 63 期(2010 年度)環境目的・目標を策定し、環境活動を開始した。 ・五事業所 2009 年度法規制順守評価を実施、法令違反はなかった。
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 環境影響評価、環境影響登録簿の見直し及び改訂を実施した。 ・北名古屋市「ごみゼロ運動」の代替工場周辺美化運動に 117 名参加した。
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 第 62 期(2009 年度) EMS 活動報告を EMS 委員会で報告した。 ・平成 21 年度 産業廃棄物処理報告書・計画書、特別管理産業廃棄物実績報告書、県外産業廃棄物搬入状況報告書等を官庁へ提出した。
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・内部環境監査を実施した。【第 62 期指摘事項是正の継続性、法的要求事項の順守、著しい環境影響項目の手順化を中心に監査を行った。】 ・夏季の省エネルギー対策として、各事業所「職場、家庭での省エネルギー活動の推進」を呼び掛けた。
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・環境情報伝達手順書の見直し・改訂を行った。 ・事故、緊急事態対応模擬訓練を実施し、手順書の有効性を確認した。 ・古紙（コピー用紙、雑古紙類）のリサイクル回収（第 19 回）を実施した。 ・名古屋工場、西春工場 平成 21 年度 大気汚染物質負荷量実態調査票を官庁へ提出した。
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・四事業所 毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・五事業所 2010 年度上半期環境マネジメントプログラム実績報告書を作成した。 ・五事業所 2010 年度上半期 法規制順守評価を実施、法令違反はなかった。 ・10 月 30 日 西春工場の閉鎖
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 (JIS Q14001:2004) 第 3 回更新審査後第 2 回維持審査を受審した。〔日本化学キュー・イー(株)〕 審査結果及びアドバイス内容について、四事業所で水平展開した。
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 維持審査の結果、12/20 J C Q A 登録委員会で適合した。 ・冬季の省エネルギー対策として、各事業所「職場、家庭での省エネルギー活動の推進」を呼び掛けた。
2011 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・天野エンザイム株式会社 第 64 期(2011 年度)環境目的・目標を策定した。 ・環境報告書 2010 作成、公開した。
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・四事業所 第 64 期(2011 年度)環境目的・目標、実施計画(EMP)を策定した。
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・三事業所 毒物、劇物の使用量調査と管理点検を実施した。 ・三事業所 第 1 種指定化学物質の使用量調査と管理点検を実施した。 ・廃棄物処理場へ処理状況の立入り調査を実施した。
<p>その他 五事業所の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境美化活動として工場、岐阜研究所、本社周辺道路、側溝の美化活動を実施した。(1 回/月) ・工場内の環境パトロール、臭気パトロールを実施した。 ・地域利害関係者との外部コミュニケーション：①養老工場の地元（山村、二又）への説明会開催（養老工場）②産業廃棄物排出計画の事前連絡の実施、③工事等（臭気、騒音発生）の事前連絡の実施 ・各務小学校の資源回収に古新聞、不要書籍などの紙資源の寄付に協力した。(岐阜研究所) ・牧田保育園のダンボール回収に協力した。(養老工場) 	



Ⅲ. 温室効果ガス（CO₂）排出量

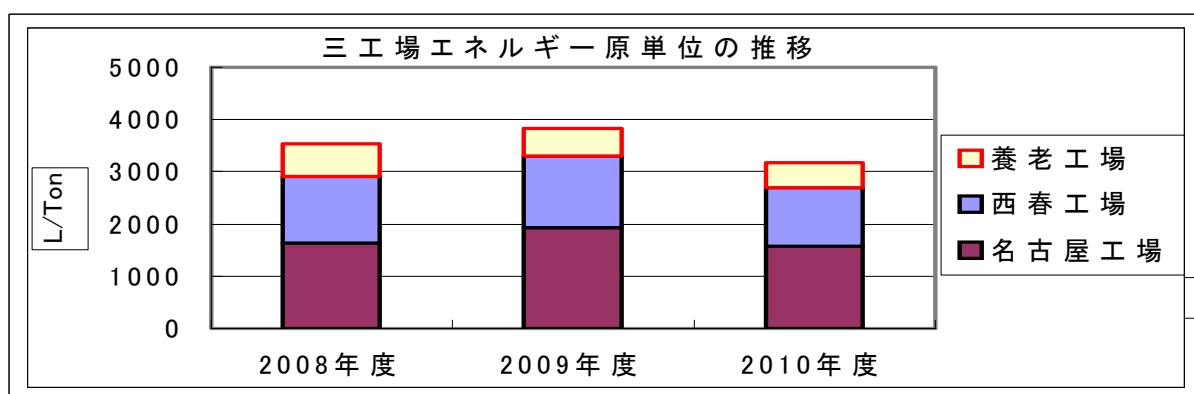
(Ton/CO₂)

	61期(2008年度)	62期(2009年度)	63期(2010年度)
名古屋工場	14,775	13,978	15,137
西春工場	8,226	5,375	2,648
養老工場	11,723	9,713	10,572
岐阜研究所	968	938	842
本社	140	144	128
合計	35,613	30,148	29,327

※ 温室効果ガス（CO₂）排出係数〔計算式〕

・ 電気 1 kWh × 0.555 kg CO₂/ kWh ・ ガス 1 m³ × 2.333 kg CO₂/m³ ・ A重油 1 L × 2.710 kg CO₂/L
(13A)

Ⅳ. エネルギー原単位について

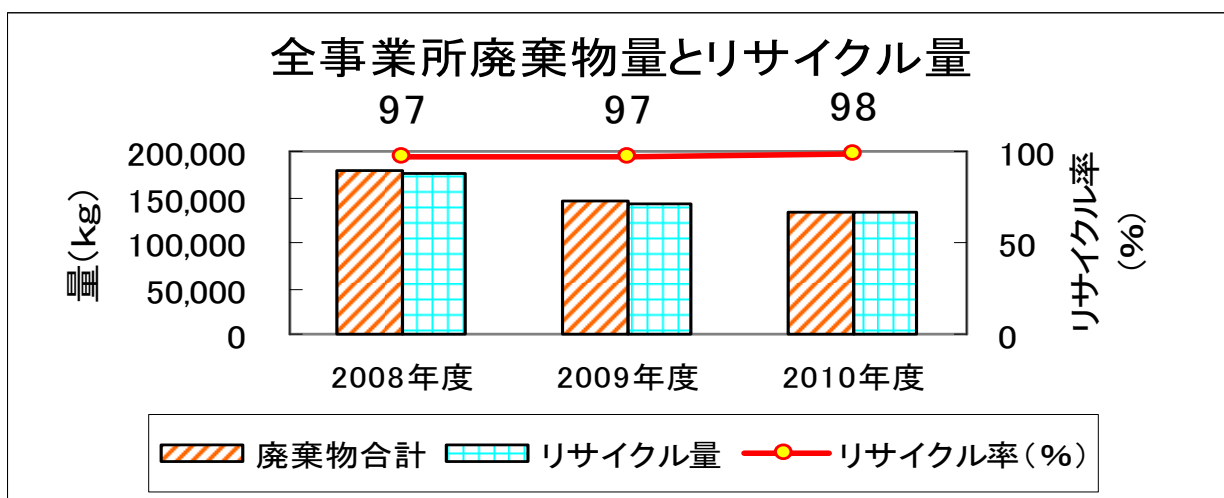


三工場 合算		2008年	2009年	2010年
	電気	411	463	430
	ガス・重油	628	559	440
	計	1,039	1,022	870
	2008年度対比	100%	98%	84%

(単位：L/t)

* 天野エンザイムの原単位とは
原単位＝電気又はガス・重油の原油換算量(L)
／仕込量(t)

V. 廃棄物量とリサイクル状況



全事業所廃棄物量の推移

(単位：kg)

	2008年度			2009年度			2010年度		
	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率	廃棄物量	リサイクル量	リサイクル率
全事業所(合計)	178,979	174,498	97	145,641	141,386	97	134,735	131,880	98
2008年度比	100%	100%		81%	81%		75%	76%	

VI. 事業所の排水について

2010年度三工場（名古屋工場、西春工場、養老工場）の排水結果

	排出量	単位
放流水	883.8	千m ³ /年
特定排水	690.2	千m ³ /年
特排COD負荷量	14.7	t/年
特排T-N負荷量	5.8	t/年
特排T-P負荷量	1.4	t/年

1. 放流水とは、特定排水に間接冷却水を加えて、工場より公共用水域（河川等）に排出される水
2. 特定排水とは、廃水処理場にて処理した水
3. 特排COD負荷量とは、公共用水域に排出されたCOD量
4. 特排T-N負荷量とは、公共用水域に排出された窒素量
5. 特排T-P負荷量とは、公共用水域に排出されたりん量

VII. 環境会計について

環境経営を推進するにあたって、過去3年間全事業所の環境施策に係る投資費用及び環境保全費は下記の通りです。

(2003年度より、環境会計を導入しました。)

2008年度～2010年度 環境会計 報告書				
環境大分類名	環境小分類名	2008年度 税抜金額(千円)	2009年度 税抜金額(千円)	2010年度 税抜金額(千円)
1	公害防止	112,161	84,513	81,422
2	地球環境保全	64	6,612	0
3	資源循環	258,347	213,595	201,177
4	環境管理	66,584	42,898	34,453
5	その他	1,632	2,390	2,581
合計		438,788	350,008	319,664